

人間科学の越境と連携実践【全4巻】

# 未来の子ども の 育ち支援のために

企画

筑波大学「未来の子ども育ち」プロジェクト

シリーズ紹介

## 1 いま、子どもの育ちの危機とは？

阿江通良、長崎 勤【編著】

現在の子どもの育ちを、つながる力、身体性、芸術的感性の角度から分析し、何が問題なのか、また何が必要な力なのかを提案する。

## 2 つながる力と未来の子ども育ち

茂呂雄二、庄司一子、長崎 勤【編著】

「つながる力」の理論的検討はじめ、動態の調査結果を分析し、「つながる力」が育つ、様々な場と時を考察し支援の在り方を探る。

## 3 身体性コンピテンスと未来の子ども育ち

澤江幸則、木塚朝博、中込四郎【編著】

「身体性コンピテンス」が、なぜ未来の子ども育ちに必要なのかを、スポーツ科学の各方面からアプローチし、検討しようと試みる。

## 4 アートでひらく未来の子ども育ち

玉川信一、石崎和宏【編著】

アートの活動が、子どもの柔軟な思考を促し、創造的な意味生成のプロセスであることを、造形の様々な領域から複眼的に提案する。

❖ 未刊の書籍はご予約として承ります

● 本体価格 各巻 2,400円(+税)

四六判／並製

いま、子どもの運動能力、社会性、学力、言語力などの低下や、虐待の増加などから「子どもの育ちの危機」が叫ばれている。特に子どもたちが、未来に希望をもって他の人々や、様々な環境・地域と良好なつながりを持ちながら、様々な社会的問題を解決し、自分の身体や感情を適切に処してたくましく生きていく力をどのように育むかが大きな課題といえる。

筑波大学・人間総合科学研究科の「未来の子ども育ち」プロジェクトでは、教育学、心理学、障害科学、体育科学、芸術学が専攻を超えて連携して研究を行い、「未来社会でつながりをもってたくましく生きるために子どもが身につけるべき基本的な力」=キー・コンピテンシーを明らかにし、「包括型の育ち支援プログラム」を開発・提案する。一人の子どもについて、つながる力、身体性、芸術的感性を包括的に捉え、その育ちを支援する、世界的にも例がない試みを、全4巻のシリーズで体系化、ついに刊行！

明石書店 TEL.03-5818-1171  
FAX.03-5818-1174

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-5  
図書目録送呈 <http://www.akashi.co.jp>

ご注文方法

◎最寄りの書店へ、このチラシご持参の上、ご注文ください。  
◎直送ご希望の方は、電話またはFAXで弊社へお申し込みください。  
代金引き替え郵便でお送りします。代金は配達の方にお支払いください。  
書籍代（本体価格+消費税）に加え、送料として一律300円がかかります。

未来の子ども  
の育ち支援のために

番線印

1 いま、子どもの育ちの危機とは？

冊

2 つながる力と未来の子ども育ち

冊

3 身体性コンピテンスと未来の子ども育ち

冊

4 アートでひらく未来の子ども育ち

冊

フリガナ

TEL

お名前

ご住所 〒

未刊の書籍はご予約として承ります



## 第1巻

## いま、子どもの育ちの危機とは？

- 序章 イントロダクション「現代と未来の子どもの姿と人間理解」(阿江通良・長崎 勤)
- 第1章 『からだから』の教育：その可能性と未来(清水 諭)
- 第2章 活力ある人間の発達と身体活動科学(阿江通良)
- 第3章 アートビクス・クリエーションによる子どもの育ち：夏休みアート・デイキャンプの実践を中心として(太田 圭)
- 第4章 美術教育のジレンマを超える子どもの育ち(石崎和宏)
- 第5章 数学の学力調査と子ども達の学びの実態—数理の眼で処理する力(清水美恵)
- 第6章 ワークショップ型保育・教育の実践(城間祥子・茂呂雄二)
- 第7章 子育て支援の課題(庄司一子)
- 第8章 子どもと学校教育における諸問題(熊谷恵子)
- 第9章 社会性は育てられるか？(長崎 勤)
- 第10章 IT社会と新たなモラル・公共性(藤 桂・吉田富二雄)
- 第11章 まとめ：子どもの未来と人間(石隈利紀)

## 第2巻

## つながる力と未来の子どもの育ち

- 第1部：理論編：筑波型コンピテンシーの考え方
- 第1章 コンピテンシーの考え方の動向(清水美恵)
- 第2章 「つながる力」はどう育つか？(長崎 勤)
- 第3章 未来の「つながる力」(茂呂雄二)
- 第2部：つながる力の動態：調査の結果から
- 第4章 社会的なつながる力(藤 桂・庄司一子)
- 第5章 数量の力(清水美恵)
- 第6章 語りの力・社会的問題解決の力(長崎 勤・田尻永里香)
- 第7章 未来を信じる力(陳晶晶・茂呂雄二)
- 第3部：つながるちからが育つ場と時
- 第8章 共感する心とつながる力(佐伯 胖)
- 第9章 ボランティアマインドとつながる力(杉万俊夫)
- 第10章 共生の力とつながる力 田中統治
- 第11章 コミュニケーションとつながる力(塚田泰彦)
- 第12章 つくば市における小中一貫教育とつながる力(片岡 浄)

## 第3巻

## 身体性コンピテンスと未来の子どもの育ち

- 第1部：過去からの流れのなかの子どもの身体
- 第1章 体力観の変遷からみた子どもの身体(西嶋尚彦)
- 第2章 発達のなかの子どもの身体  
幼児期(木塚朝博)／学童期(加藤謙一)
- 第3章 原風景のなかの子どもの身体(中込四郎・奥田愛子)
- 第2部：今を生きる子どもの身体
- 第4章 現代社会の特徴からみた子どもの身体(菊 幸一)
- 第5章 学習指導要領で求められる子どもの身体(岡出美則)
- 第6章 不適応の子どもの身体(坂本昭裕)
- 第7章 障害のある子どもの身体(澤江幸則・齊藤まゆみ)
- 第3部：未来の子どもの身体
- 第8章 未来につながる子どもの身体とその育ち～プロジェクトの取り組みとその成果～(木塚朝博・澤江幸則)
- 第9章 今後の課題と展望(阿江通良)

## 第4巻

## アートでひらく未来の子どもの育ち

2014年2月刊行

- 序章 アートと子どもの育ち(玉川信一)
- 第1部：イメージと素材のつながりをひらく
- 第1章 創造に臨む態度——壁画制作実践に学ぶ(仏山輝美)
- 第2章 版で描くということ——「刷り」を通した相互作用について(田島直樹)
- 第3章 木と子どもの造形(大原央聡)
- 第2部：造形的リテラシーと感受性のつながりをひらく
- 第4章 ビジュアルデザイン教育でわかりやすく伝えるちからを育てる(田中佐代子)
- 第5章 夏休み子どもアート・デイキャンプの実践(太田 圭)
- 第6章 表現と鑑賞が同居するワークショップ(林剛人丸)
- 第3部：イメージとことばのつながりをひらく
- 第7章 共生する書写——子どもの国語力とアート(菅野智明)
- 第8章 アートライティング教育(直江俊雄)
- 第9章 美術の作品鑑賞を活用する——アメリカにおける小学校用の美術教科書(岡崎昭夫)
- 第10章 子どもの芸術的なコンピテンシー——イメージとことばを相互作用的につなげる力(石崎和宏・王文純)

